

入試情報



学部入試

観光科学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試やAO入試など多様な選抜方式によって、多様な人材を受け入れます。

一般入試（一般選抜）では、高等学校等において基本とされる教科を幅広く勉強して偏りのない素養を身につけ、十分な基礎学力を修得した学生を選抜します。

前期日程では大学入学共通テスト（5教科7科目）、個別学力検査（2教科2科目）、および調査書により、科学的方法論に基づく観光科学を学ぶ理系分野の基礎学力を有し、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。

後期日程では大学入学共通テスト（5教科6科目）、個別学力検査（小論文のみ）、および調査書によって、論理的思考に優れ、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。数学・理科を履修した文系学生も受験しやすい入試です。

また、多様な選抜方法として、一般推薦入試、グローバル人材育成入試（AO入試）、特別選抜として、中国引据者等子女入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試を実施します。入学試験に関して詳しくは募集要項をご覧ください。大学事務までお問い合わせください。

問い合わせ先：東京都立大学 アドミッションセンター（入試課） TEL 042-677-1111（代表）

大学院入試

観光科学域の入学希望者は、博士前期課程、博士後期課程ともに、8月または2月に実施する入学試験を受ける必要があります。また、4月入学と10月入学が選べます。

博士前期課程の8月入試科目は小論文、専門科目の筆記試験と面接、2月入試科目は小論文と研究実績や研究計画のプレゼンテーション面接です。博士後期課程の入試科目は2、8月入試とも、小論文とプレゼンテーション面接です。上記に加えて全受験者はTOEFL、TOEICあるいはIELTSのスコアを試験日までに提出する必要があります（評価対象）。詳しくは募集要項をご覧ください（<http://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>）。毎年5月頃に入試説明会を実施しています。試験前に必ず指導を希望する教員にメールで相談をしてください。

問い合わせ先：東京都立大学大学院 観光科学域 院試担当 Eメール kyomu@tmu.ac.jp

■観光科学科／
観光科学域の沿革

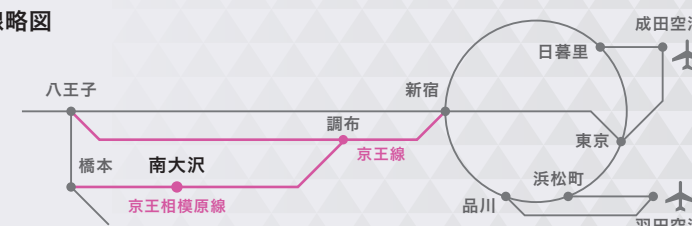
■アクセス

■お問い合わせ

観光科学科（学部）と観光科学域（大学院）を合わせて、観光科学教室と称していますが、観光科学教室は、2007年4月に都市環境科学研究科内の大学院観光科学専修として発足し、2008年4月には大学院博士前期課程1期生が入学しました。翌年には観光科学域として改組され、都市環境学部には自然・文化ツーリズムコースがつくられました。2010年4月には博士後期課程の学生の受け入れを開始し、都市環境学部の自然・文化ツーリズムコースには、学部3年時に他学部・他コースから転属するという形で、学部1期生を迎えました。そして、2018年4月には大学の組織再編に伴い、自然・文化ツーリズムコースは観光科学科と名称変更するとともに、念願の学部入試を実施して1年生から学部学生を受け入れることになりました。

観光科学科／学域は南大沢キャンパス9号館を拠点としています。南大沢キャンパスは東京都八王子市にあり、最寄駅は京王相模原線南大沢駅です。東京都心部からは新宿駅より京王電鉄にご乗車になり、橋本方面にお越しください。南大沢駅は特急・準特急電車が停車します。南大沢駅の改札口を出たら右へお進みください。アウトレットモールを抜けて大きな歩行者デッキを渡るとキャンパスが見えてきます。キャンパスに入ったら右手に続く屋根付きの通路に沿ってお進みください。9号館までは駅から徒歩12分ほどです。

鉄道路線略図



南大沢駅からキャンパスまで



観光科学科／学域事務室（平日9:00から16:30まで）

192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学 南大沢キャンパス9号館378室

電話 042-677-2664

FAX 042-677-2665

メール kyomu@tmu.ac.jp

ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/tourism/index.html>

東京都立大学 都市環境学部 観光科学科

東京都立大学 大学院都市環境科学研究科 観光科学域

Department of Tourism Science

Graduate School of Urban Environmental Sciences / Faculty of Urban Environmental Sciences

Tokyo Metropolitan University

TOURISM
SCIENCE観光を
科学する

環境資源に限られる日本の観光地域が今後発展していくためには、地域資源の保全に必要な生態学・地理学や、インフラ整備に必要な交通計画・都市計画、さらに観光行動を読み解くための情報科学・心理学といった理系の視点が欠かせません。東京都立大学の観光科学科で学ぶ「観光科学」は、観光にまつわるあらゆる事象を科学的な視点で解き明かす新しい学問です。観光科学科では、観光科学を通じて観光地域の発展に寄与できる、観光分野のスペシャリストを育成することを使命としています。また、現象解明から計画立案、観光振興の実績活動を担う技術者、コンサルタント、レンジャーなどの専門家、観光の総合的なマネジメントを行う実務的ジェネラリストを育てることを目標としています。



観光科学科 観光科学域での学び



観光科学科／学域の教育上の特色は、以下の3点です。

第一には、「まちづくりや自然の適正利用」を支える幅広い観光の基礎知識を持つとともに、深い知見を持った専門性を有する「総合力と専門性」を身に付けるプログラムを提供していることです。

第二には、「まちづくりや自然の適正利用」のための具体的な現象や問題を理論的に解明し、計画を立案するための調査手法や分析手法、表現方法などの「技術」を学べることです。第三には、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）という実際の地域・観光地をフィールドとした研究・教育方法により、現実の観光地域を持続的に発展させていく観点から地域の資源や現象を分析し、ときに提案的な社会実験を行い、これに基づき計画づくりを行う「観光地の診断から計画、実践まで」を体験・研究できることです。

求める学生



● 環境や歴史・文化、芸術、産業などの地域資源の 保全・活用や、観光地経営に関わる、理系や人文科学・社会科学系の講座や演習に興味のある人

● もの・人との共生や交流を通して、人に夢や活力を与える観光を学ぶ意欲を有する人

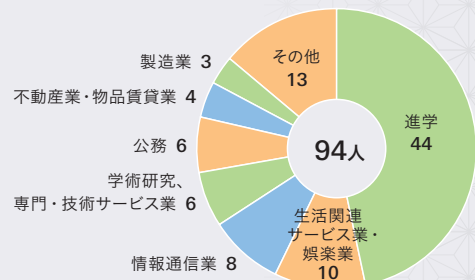
● 観光の調査から計画、実践までの技術を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人

卒業生・修了生の進路

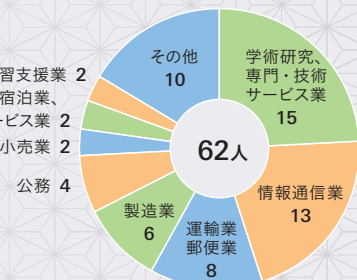


学部生の卒業後の進路としては、観光ビジネスに関わる旅行業や宿泊業のほか、人々の観光行動を支える運輸業、観光地の振興を支援する行政やコンサルタント、金融業など多岐にわたっています。大学院への進学者は本学域への進学のほか、学内他学域や他大学の大学院への進学実績もあります。

大学院修了者の進路としては、学部生と同様に観光に関わる幅広い分野へ就職しています。学部生と比較して、やや専門的な解析力や実践力が問われるコンサルタントや行政職などへ就職する割合が高くなっています。



学部生の業界別就職状況(人)
2016-2020年度



博士前期課程修了者の
業界別就職状況(人)
2016-2020年度

研究領域



観光科学教室は「自然環境マネジメント」「地域計画・マネジメント」「行動・経営科学」の3つの領域から構成されています。

自然環境マネジメント領域

自然環境を利用する観光現象における人・生物・物理環境を対象に、農林水産業、地域参画、環境教育、環境保全に関する活動における、生態系の保全と開発のバランスの最適解を見出すことで、持続的な自然環境の利用とその管理に貢献することを目指す領域です。生物資源学、地域環境学、生態環境学を活用して観光にアプローチします。

沼田 真也	教授	保護地域管理、熱帯生物学、都市生態学
仁平 尊明	教授	人文地理学、地誌学
大澤 剛士	准教授	生物多様性情報学、応用生態学、保全科学
高木 悦郎	助教	森林動物学、個体群生態学
坂本 優紀	助教	人文地理学、観光地理学

地域計画・マネジメント領域

生活や生業の場である都市や集落地域の空間や建造物と、そこで生まれる有形・無形の文化を観光資源として活用する観光や、その観光を通して地域環境の改善や魅力向上のための実践的な計画・実現手法を研究する領域です。観光まちづくり学、観光インフラ計画学、観光政策、観光地域史などを活用して観光にアプローチします。

清水 哲夫	教授	交通学、社会基盤計画学、観光計画学
川原 晋	教授	都市・地域デザイン、観光まちづくり、観光地域マネジメント
岡村 祐	准教授	都市デザイン、都市計画、観光まちづくり、観光地域史
大平 悠季	助教	土木計画学、交通計画、都市・地域計画
益子 智之	助教	都市計画学、復興デザイン学、都市デザイン

行動・経営科学領域

観光者、観光関連企業・組織やその従業員など、観光に関わる様々なアクターの心理や行動を科学的に研究し、観光関連企業・組織が観光者の顕在・潜在的ニーズに合ったサービスと情報を提供するための方法を確立することを目的とする領域です。観光心理・行動科学、観光情報学、観光経営学などを活用して観光にアプローチします。

相原 健郎	教授	情報工学、行動把握・行動変容、CPS
日原 勝也	教授	経営学、ミクロ経済学、観光政策、交通政策
倉田 陽平	准教授	地理情報科学、空間情報処理、観光情報システム
Wu Lingling	准教授	観光マーケティング、統合型観光行動分析、ビッグデータ解析
小笠原 悠	助教	社会システム工学



研究ピックアップ

PICK UP

野生生物バーチャルハンティング

■自然環境マネジメント領域 沼田 真也 教授／高木 悦郎 助教

東南アジアの熱帯雨林には多くの希少な野生生物が生息していますが、人気のある野生生物の多くは低密度、夜行性で、観察することには大変です。私たちは熱帯雨林の野生生物の生存を脅かすことなく、魅力的で安全な観光資源として活用するため、センサービデオカメラを活用した観光プログラム（野生生物バーチャルハンティング）の開発を行っています。



町工場一斉公開イベント「おおたオープンファクトリー」

■地域計画・マネジメント領域 岡村 祐 准教授／川原 晋 教授



3,000以上の工場が集積する東京都大田区を対象に、期間限定で町工場を一斉公開する「おおたオープンファクトリー」を大田観光協会および横浜国立大学と共に主催しています。学生はその企画・運営の中核を担います。同地域では他にも、多様な地域活動の拠点として旧工場をリノベーションした「くりらぼ多摩川」を運営し、モノづくり、まちづくり、観光と一緒に考える活動を展開中です。

CT-Plannerで、あなただけの旅のプランを！

■行動・経営科学領域 倉田 陽平 准教授

旅のプランづくりはワクワクする作業ですが、交通手段や営業日時を調べる手間も必要です。そこで私たちはPCやスマホから気軽に旅のプランづくりができるWebサイトを開発しました。地図を見ながら、興味を持ったものばどんどんリクエスト。そのたびにプランはあなた好みに進化していきます。東京・京都をはじめ全国60地域以上に対応、英中韓国語でもサービスを展開しています。



観光科学研究MAP 観光科学科所属の教員の研究・プロジェクト対象地（過去のものも含む）

